

防災

- 「宮城県沖地震の再来に備えよ」
応用地質株式会社宮城県沖地震図書編集委員会
河北新報出版センター 2004年 (369)
- 「防災の決め手「災害エスノグラフィー」 阪神・淡路大震災 秘められた証言」
林春男ほか NHK出版 2009年 (369)
- 「世界で一番強い地盤・基礎を設計する方法」
建築知識 エクスナレッジ 2011年 (524)
- 「トイレが大変！ 阪神・淡路大震災と新潟県中越大地震の教訓」
山下亨 近代消防社 2005年 (518)
- 「ドクターヘリ&レスキューヘリ」イカロス出版 2009年 (538)
救急・救助に活躍するニッポンのヘリコプターを完全ガイド

「秋田市防災カルテ」 平成22年3月
秋田市総務部防災対策課 (C369)

秋田市内47小学校区ごとに、居住者、急傾斜地等の現況、建物、地震被害（地震被害想定結果）、防火・防災施設に関する指標を整理したもの。地図には避難所や危険箇所等が示されています。

ボランティア

- 「七色の虹が架かるまで」
阪神大震災遺児とレインボーハウスの10年史
あしなが育英会 2004年 (369)
- 「ボランティアはいかに活動したか」
西宮ボランティアネットワーク 1995年 (369)
- 「善意義勇軍ノススメ」
ボランティア奨励会 データハウス 1995年 (369)

復興へ...

- 「大震災 復興への警鐘」
内橋克人 鎌田慧 岩波書店 1995年 (369)
- 「復興10年 神戸の闘い 自治体・学校の緊急災害対応」
金芳外城雄 日本経済新聞社 2004年 (369)
- 「大震災10年と災害列島」
塩崎賢明ほか クリエイツかもがわ 2005年 (369)
- 「復興計画 幕末・明治の大火から阪神・淡路大震災まで」
越澤明 中央公論新社 2005年 (518)

地震

- 「東日本大震災 特別報道写真集 1カ月の全記録」
秋田魁新報社 2011年 (A369)
- 「あした起きてもおかしくない大地震 21世紀・地震アトラス」
島崎邦彦ほか 集英社 2001年 (369)
- 「連動して発生する巨大地震」
"そのとき"は確実にやってくる
ニュートンプレス 2008年 (453)
- 「地震 タテ横ななめ」
今村遼平 電気書院 2004年 (453)
- 「地震と断層」
島崎邦彦・松田時彦 東京大学出版会 1994年 (453)
- 「液状化現象 巨大地震を読み解くキーワード」
國生剛治 山海堂 2005年 (511)
- 「知ってそなえよう！地震と津波」
ナマズ博士が教えるしくみとこわさ
都司嘉宣 素朴社 2007年 (36)

東日本大震災 2011.3.11 14:46 M9.0

犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

秋田県は東北の中では被害が少なかったものの、停電や物流停止により、「あたりまえ」と思われていた日常に混乱が生じました。

間もなく3ヶ月が過ぎようとしている今、そしてこれから、私たち一人一人がなすべきことは…。

津波

- 「TSUNAMI 津波から生き延びるために」
沿岸技術研究センター 丸善プラネット 2009年 (369)
- 「津波の事典」
首藤伸夫ほか 朝倉書店 2007年 (R452)
- 「津波 TSUNAMI」
山下文男 あゆみ出版 1997年 (453)
- 「噴火・地震・津波 "活動する大地の現象"」
学習研究社 2009年 (45)

「もえよ稲むらの火 村人を津波からまもり堤防をきずいた浜口梧陵」
桜井信夫・作 高田三郎・絵 PHP研究所 1987年 (28)

「大変だ、津波が来る」。海の水がどんどん引いていくのを見た五兵衛は、村人に危険を知らせるため、大事な稲むらに火を付けます。

- 「エネルギーと私たちの社会 デンマークに学ぶ成熟社会」
ヨアン・ノルゴー、ベンテ・クリステンセン
新評論 2002年 (501)

- 「よくわかる自然エネルギー Q&A」
市民はエネルギー問題をどう考え、どう解決するか
自然エネルギー推進市民フォーラム 合同出版 2002年 (501)
- 「エネルギーの未来」 小峰書店 1999年 (51)
わたしたちの地球環境—人類が生きのびるために
- 「エネルギーがもったいない」
学習研究社 2007年 (51)

エネルギー・原発

- 「原発大情報」
メディア・インターフェイス 三一書房 1989年 (543)
- 「核の大地 チェルノブイリ、そして汚染の世界に行く」
広河隆一 講談社1990年 (543)
- 「アレクセイと泉のはなし」
本橋成一 アリス館 2004年 (54)